

(株)小樽水族館公社および(株)北海道マリパークにおけるBSCによる戦略の比較

プロジェクト代表者: 上山 晋平

1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトは、ゼミナールの学生が主体となり、地域の観光の要となっている2つの水族館事業者と交流することで、学生の地域に対する理解を深め、将来、地域経済の活性化に貢献する人材となるための基礎力を養うことを目的とした。財務会計論を専攻する二村ゼミナールと管理会計論を専攻する上山ゼミナールの学生(計23名)が、財務省北海道財務局の協力を得て、小樽市の第三セクターである(株)小樽水族館公社と登別市の第二セクターである(株)北海道マリパークの戦略について、インタビュー調査にもとづいて、会計ツールの1つであるバランスト・スコアカード(BSC)を使って、比較を行い、課題および解決策を検討した。

2. 具体的な取組内容

(株)小樽水族館公社と(株)北海道マリパークにより、事前に頂いた資料および公開資料にもとづき、市立小樽美術館にてグループワークを実施し、戦略について、課題および解決策を検討した。その中で分からない箇所を質問票に纏めた。訪問時に見学を行った後、質問票にもとづき、インタビュー調査を実施した。その後、大学図書館にてグループワークおよび公開で報告会を実施した。報告書を作成し、(株)小樽水族館公社と(株)北海道マリパークに提出した。

グループワークの様子



グループワークの様子



インタビュー調査の様子



インタビュー調査の様子



報告会の様子



報告会の様子



3. プロジェクトの成果及び地域への還元

地域の事業に関わることで、学生の地域に対する理解を深めることができた。異なるゼミナールに所属する学生がグループワーク、インタビュー調査および報告会を共にすることによる学生間の交流、地域で活躍する事業者の指導のもと、学生と地域の事業者の交流が図られた。これにより、学生の地域貢献に対する問題意識、動機付けを高め、将来、地域経済の活性化に貢献する人材になることが期待される。